

JF-IETF-RFC3267

**AMR 及び AMR-WB  
音声コーデックのための  
RTP ペイロード形式と蓄積形式**

Real-Time Transport Protocol (RTP)  
Payload Format and File Storage  
Format for the Adaptive Multi-Rate  
(AMR) and Adaptive Multi-Rate  
Wideband (AMR-WB) Audio Codecs

第 1.0 版

2007 年 11 月 26 日制定

社団法人

**情報通信技術委員会**

THE TELECOMMUNICATION TECHNOLOGY COMMITTEE

本書は、（社）情報通信技術委員会が著作権を保有しています。  
内容の一部又は全部を（社）情報通信技術委員会の許諾を得ることなく複製、転載、改変、転用及びネットワーク上での送信、配布を行うことを禁止します。

## 目次

< 参考 > .....	4
1. 標準の概要 .....	5
2. 本標準で規定する内容 .....	5

## < 参考 >

### 1. 国際勧告等との関係

本標準は、IETF において制定された RFC3267 に準拠している。

### 2. 上記国際勧告等に対する追加項目等

#### 2.1. オプション選択項目

特になし

#### 2.2. ナショナルマター項目

特になし

#### 2.3. 原標準に対する変更項目

特になし

### 3. 改版の履歴

版数	制定日	改版内容
第 1.0 版	2007 年 11 月 26 日	制定

### 4. 工業所有権

TTC の「工業所有権等の実施の権利に係る確認書」の提出状況は、TTC ホームページで公開されている。

### 5. その他

#### (1) 参照する主な勧告、標準

IETF RFC: RFC 2119, RFC1889, RFC2327, RFC1890, RFC2733, RFC2198

3GPP: TS 26.090 (2001), TS 26.101 (2001), TS 26.190 (2001), TS 26.201 (2001), TS 26.093 (2000),  
TS 26.193 (2001), TS 26.092 (2001), TS 26.192 (2001), TS 25.415 (2001), TS 26.102 (2001),  
TS 26.202 (2001)

(2) 本出版は、具体的な規定内容を含んでいない。規定はすべて準拠元である IETF RFC によっている。

具体的な規定内容は RFC を参照する必要がある。

### 6. 標準作成部門

信号制御専門委員会

## 1. 標準の概要

本標準は、AMR 及び AMR-WB で用いられる RTP ペイロードフォーマットについて規定する。このペイロードフォーマットは、非 IP ネットワークにおいて AMR 及び AMR-WB の既存のトランスポートフォーマットと相互に運用可能なようにデザインされている。加えて、E メールのような格納モードアプリケーションで AMR 及び AMR-WB の音声データを送信するためのファイルフォーマットについても規定する。

## 2. 本標準で規定する内容

本標準で規定する内容は下記の IETF RFC による。

IETF RFC3267 : 「Real-Time Transport Protocol (RTP) Payload Format and File Storage Format for the Adaptive Multi-Rate (AMR) and Adaptive Multi-Rate Wideband (AMR-WB) Audio Codecs」